

埼玉反核医師の会 総会記念講演

「ジェンダーの視点から目指す核兵器廃絶」

～戦争が強いる「らしさ」とは～

「男性だから」「女性だから」という理由で、期待される役割や背負わされる負担が異なる社会に、私たちは生きています。では、その言葉を向けられたとき、どのようなことを思い浮かべるでしょうか。こうした社会的・文化的に構築された性差、すなわち「ジェンダー」という視点から核兵器を見つめ直すと、核問題の新たな側面を見ることができます。

今回の記念講演では、ジェンダーの視点から核兵器廃絶を目指す活動を展開する徳田悠希氏をお招きし、ジェンダーと戦争・核兵器との関わり、被爆の影響とジェンダー格差などについてお話を伺います。ぜひご参加ください。

日時：2月21日（土）17:00～18:30

会場：埼玉会館7階7A（現地開催のみ）

講師：徳田悠希氏（GeNuine代表）

申込方法：下記の「参加申込み欄」に必要事項
ご記入の上ご返送ください。

申込締切：2月19日（木）



【プロフィール】

2001年東京都出身。中学時代に修学旅行で訪れた広島で被爆者と出会い、核兵器問題に関心を持つ。大学進学後、核兵器をなくす取り組みをはじめ。核兵器禁止条約の第1回締約国会議への参加をきっかけに、2023年4月、ジェンダーの視点から核兵器廃絶を目指す団体「GeNuine」を設立し、代表を務める。

【講師からのメッセージ】

冷戦終結以降、核兵器が使用されるリスクは、いま最も高まっていると言われています。こうした状況の中で私たちは、「核兵器が使用されてしまったら何が起こるのか」、それでもなお核抑止に依存し続けるべきなのかという問いに、改めて向き合う分岐点に立たされています。本講演では、ジェンダーという視点から核兵器を見つめ直し、被害や影響がどのように不均衡に生じてきたのかを考えます。核兵器廃絶をめぐる議論を、より多角的に捉えるための一助となれば幸いです。皆さまのご参加をお待ちしています。

参加申込み欄 FAX（048-824-7547）

氏名	その他	人	計	人
----	-----	---	---	---

電話番号	()	所属団体名
------	-----	-------